

(様式6-3)

研修等 報告書

令和4年 10月 14日

三田市議会議長 北本節代 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会 三田	代表者	
		議員名	小山裕久
参加者氏名	小山裕久		
講演会等研修名	・ 議会活動現場でのヒント ・ 危機管理産業展		
研修事項	・ 質問力をアップする現場のヒント理解編 ・ 質問力をアップする現場のヒント難題編 ・ 防災消防分野における研究開発 ・ 激動の世界情勢を語る～コロナ・ウクライナとその後の世界		
日 時	令和4年10月3日(月)15時～5日(休)21時		
場 所	東京都千代田区有楽町1丁目12-1 東京ビックサイト		
所 見	別紙に記載		
添付資料	・ 質問力をアップする現場のヒント資料2部 ・ 危機管理産業展資料 ・ 来場者証 ・ 当日の写真		

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。(代表者名、参加者氏名は不要)

2022年10月4日 質問力をアップする現場のヒント、理解編、難問編の研修に参加致しましたので所見を述べさせていただきます。

講師の高橋伸介氏は昭和28年生まれ、仏教大学社会学部卒業後に京都信用金庫入社され融資営業係長を経て支店長代理などを経験なされ、京都・市民・オンブズパーソン委員会委員となり、平成11年より枚方市市議会議員、4期の議員経験、現在は行政改革推進協議会議員研修会講師、京都・市民・オンブズパーソン委員会会員、大阪府議会議員及び中司宏衆議院議員政策アドバイザー、など今までの経験を基に、今回は質問力をアップする現場のヒントとして講演、質疑応答に答えていただいた。

地方自治法に述べられている通り、地方議会の本質として、民主的にして効率的な行政の確保を図るためには、どのようにしたらよいか、また地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的にかつ、総合的に実施する役割を広く担うには、どのような活動が必要であるかを講義いただき、「100の議会があれば100通りの議会運営があり、100の正義がある」理事者席に座っているのは、25年以上の行政のベテランでありそれを相手するためには、議会の中で共感を得るための努力、そのためには日々の勉強と対話と説得が極めて重要であるとの話であった。キーワードとして合意形成の重要性、環境醸成の必要性、だからこそ対話が必要であるとの事であった。

一般質問のポイントとして、「知っていることを聞き、知らないことは聞かない」即ち自身が事前の勉強と十二分なヒアリングを行い、一般社会における質問とは異なることを意識しなければならないと話されました。私が考えるに、何ら事実の裏付けのない質問は単なる演説になってしまい、ただの要望になる、それは市民を代表して質問を行う議員として失格である、自分の持っている、主義主張の感覚は無くし、特にこれからは、少子高齢化がすすむ地方行政に対し、今までの要望型の質問から、財政・市政に関して政策提案型立案型の質問の重要性が増してくるのではないかと考えました。

先ほども述べましたがしかしながら、理事者席に座っている25年以上の行政ベテランが相手であるとの認識をしっかり持ち、今まで以上に三田市民の福祉の増進を図るために、しっかり議会活動、地域活動を通し、そこから課題を見つけ政策提言が出来る努力が今まで以上に必要であると感じられた、研修でありました。

以上 小山 裕久

2022年10月5日東京ビックサイトで行われました、危機管理産業展2022に参加致しましたので、所見を述べさせていただきます。

危機管理の専門家が全国から終結され・防災減災・BCP事業リスク対策・セキュリティ・DXサイバー対策・感染症対策また東京消防庁、法務省法制局、防衛省その他多くの危機管理分野における最新の技術を見せてもらう事ができ、また危機管理に対してのセミナープログラムも51講演開催され、充実した見本展に参加させていただきました。

危機管理に対するセミナーとして、私は、総務省消防庁予防課危険物保安室室長、中本敦也氏の「消防防災分野における研究開発」を受け、日本における危険物施設の状況をお聞きし、バブル経済崩壊後安心に対する、特に目にみえにくい直接利益になりにくい文やに対する予算の削減により施設の事故が増えており、また人手不足も加わり、人的要因の事故が増えてきているとの統計を報告された。現在取り組んでいる研究開発の発表では、「消化活動困難な火災に対応するための消化手法の研究開発」「救急輸送における感染症対応に関する研究開発」「消防職員の消化活動時における殉職受傷事故を防止するための研究開発」など消防庁の研究開発推進体制について発表がありました。

また激動の世界情勢を語る～コロナ・ウクライナとその後の世界～として、信州大学特任教授ニューヨーク州弁護士山口真由氏、イスラム思想研究家飯山陽氏、ホスト役として（公）公共政策調査会板橋功氏の講演も参加し、西側諸国からの世界情勢の論理とイスラム（東側）の論理、そして国際情勢について、また山口真由氏の専門分野である、家庭法の観点からコロナ渦の少子高齢化、教育格差の問題などの講演を聞きました。

今回の見本展に参加をさせていただき、ほぼ一般では参加できない分野での見本展に参加でき、普段目にする事のない危機管理分野の最新技術、その世界の第一人者の研修など、非常に高度な体験、研修を受講できました。私の立場としては、不安定な世界情勢からくる聞き、
→ 危機
このような危機が訪れない事を祈るばかりですが、しかしながら、万が一を考え、危機管理に対する国の政策や、専門家の皆様の考え意見をしる良い機会になったとおもいます。

以上 小山 裕久

質問力をアップする現場のヒント 難問編



2022年10月4日 in 東京

2022年11月2日 in 東京

講師 高橋伸介

質問力をアップする現場のヒント 理解編



2022年10月4日 in 東京

2022年11月2日 in 東京

講師 高橋伸介